

2013年10月19日

分科会 歩いて暮らせるまちづくり

都市計画の方向性

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
東京大学空間情報科学研究センター

浅見泰司



社会背景

●日本内部

人口減少、低成長、高齢社会、事前復興・・・資源面での不安

●国際情勢

開発途上国の高い成長性、大消費国の成長鈍化→国際競争の激化

国内不安、金融不安→ナショナリズム、国際緊張

◆財政制約の拡大

◆国際競争力の強化

●都市計画制度小委員会中間とりまとめ(社会資本整備審議会都市計画部会、2012年9月)

人口減少・超高齢化、財政制約・経済の低迷、地球環境問題とエネルギー制約

◆都市計画の考え方：集約型都市構造化、都市と緑・農の共生、民間活動の重視

◆総合的な都市計画システム、新しい手段(インセンティブ、ディスインセンティブ)、交渉型計画制度、スピードアップ、変化予測など計画技術の充実

都市計画関連制度検討の状況

- 都市計画制度は「老朽化」
 - ・ 都市計画法以外の仕組みで補強
- 最近の動き
 - ・ エコまち法(都市の低炭素化の促進に関する法律)
 - 集約型都市を概念モデルに
 - ・ 特区による規制緩和
 - 構造改革特別区域
 - 国際戦略総合特区
 - 地域活性化総合特区

都市計画の方向性

●都市再構築戦略検討 (2013.7.31中間とりまとめ)

- ・地方都市→**集住**
- ・大都市 →**魅力向上** (国際戦略)
- ・郊外部 →**高齢者対応**



●都市計画制度小委員会中間とりまとめ (社会資本整備審議会都市計画部会、2012年9月)

- ・人口減少・超高齢化、財政制約・経済の低迷、地球環境問題とエネルギー制約

→都市計画の考え方: **集約型都市構造化、都市と緑・農の共生、民間活動の重視**

→**総合的**な都市計画システム、**新しい手段** (インセンティブ、ディスインセンティブ)、**交渉型計画制度**、**スピードアップ**、**変化予測**など**計画技術**の充実

集約型都市構造化



都市と緑・農の共生



● 将来像：集約型都市構造化

- 徒歩・自転車で活動できる集約拠点を公共交通で結ぶ集約型の都市構造
- 関連施策が協働することが前提
- 土地利用計画の総合性、優れた都市経営、都市計画の実効性の向上

● Walkability研究

- 歩きやすさと都市構造の関係
- 東京23区内などはかなり walkable

● 自然系、生態系への配慮

- 単に保全すれば良いわけではない
- 例：都市内緑地のネットワーク
 - つなげるだけでなく、適正距離内の配置も
- 生態系空間モデリングによる自然系評価
 - 自然系資源の空間分布の把握
 - 空間ランキング（希少性、生産性の面）
 - 適切な自然系空間マネジメント

集約型都市構造化

完結する生活領域（コンパクトシティの思想）

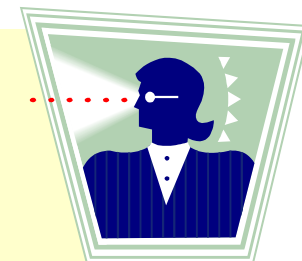
- 基礎的生活
 - 通勤・通学
 - 購買行動
- 高齢社会・ユニバーサルデザイン
 - 高齢者施設・介護支援施設（在宅介護）
 - UDによる空間ネットワーク
- 複合的施設空間計画
- 様々な空間ネットワークの把握・計画



最適な地区像は？

- 最適な地区像は画一的ではない！
 - ・ 高密市街地の最適像
 - ・ 中密市街地の最適像
 - ・ 低密市街地の最適像
 - ・ 農村集落の最適像
 - ・ 中山間地の最適像
- 輸送系：交通（人流・物流）システム、エネルギーシステム
- 制御系：負荷管理、安全管理、開発管理、活動管理
- サービス系：社会サービス、商業、教育、娯楽

都市マネジメントの可視化



- 「見える化」
- 可視化
 - 単に人々の内省に訴えて意識を変えていくためのものではなく、地区毎の負担や貢献と公共サービス費用を明示し、上で述べた地区の連帯責任に関する意思決定をする際の重要な根拠情報に
 - 単なる行政サービスとしての情報発信ではなく、都市マネジメントを行っていく上での根幹情報を、行政などが責任をもって出す

集約化には、施策の 「不平等」対応が必要

- 例1：集約化計画→地区選定の根拠が必要
- 例2：地区ごとの負担（例えば、税収額）と公共サービス水準を将来のいくつかの選択肢も含めて提示
- 的確な都市情報データの取得が不可欠
 - →都市計画基礎調査の仕組みを增強
- データを的確に分析
 - →分析担当部署を增強

市街地内に現れる 非建築地の対応

- 現行：市街化区域内は市街化、その他は市街化抑制が基本

市街化区域内の農地・緑地を積極的に位置づけ、誘導

→QOLを高める空間としての有効利用へ

市町村のツールにより、非建築地の規制

都市計画の方向性

- 中心部：集約型都市構造
 - ・ 集中投資の根拠・・・見える化
 - 歩いて暮らせるまちづくり
 - ・ 公共交通と徒歩・自転車による移動
- 郊外部：農との共存型都市構造
 - ・ アジア型都市構造の積極評価
 - 生活拠点へのアクセスは個別交通機関

